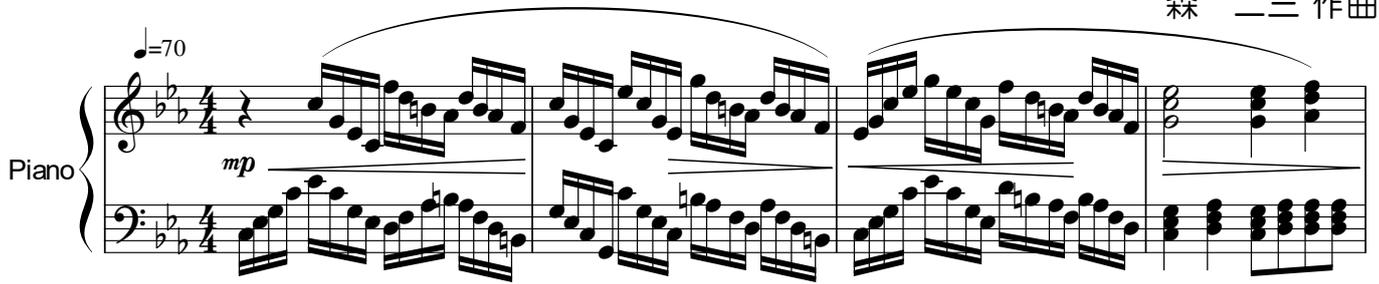


傷ついた腕の写真

千秋昌弘 作詞
森 二三 作曲

Piano

$\text{♩} = 70$



A

5 *mp*



わたしのうでは おおきなきずが ある

8 *mp*



かたもうでもさらし しせんあつめあるいてきた

B

11 *mp*



いまは ながそでで かくしかくしていきている ミサイルがわたしたちの

傷ついた腕の写真

14

うつくしいまちにおそいかかった たてものは くずれ おおきなきずをおった

Pno.

17

D *p*

そんなある日おっとのせんしをしたた かなしみとにくしみでなきくず

Pno.

21

E *mp*

れた わたしには じゅうさんさいと ななさいの こどもがいる かなしんでばかりおられない

Pno.

25

F *mp* ♩=60

ある日わたしのしゃん -

Pno.

傷ついた腕の写真

29

とらせてと はなしがあつた そのしゃんは まかどの ポスターにゐる— かたやうでを さし—

Pno.

33

ほほえんでいる— かなしみや にくしみのりこえ ほほえんでいる

Pno.

mp

G ♩=54

37

こ—どもたちよ せ—かいじゆうのこどもたち にくしみのれんさたちきって

Pno.

mf

tr

41

れきしがきずいたへいわのちつじよに いきてください きずついたうでのしゃんは—

Pno.

H *mp*

tr

mp

傷ついた腕の写真

mf

44

へいかなせかいがくるとー ほほえんでいる せんそうのない せかいがくると

47

よびかけている よびかけている

2026. 3. 4

傷ついた腕の写真 千秋昌弘

私の腕には大きな傷がある 肩も腕も晒し視線集め歩いてきた
 今は長袖で隠し隠して生きている
 ミサイルが私達の美しい町に襲いかかった
 建物は崩れ大きな傷を負った
 そんなある日夫の戦死を知った 悲しみと憎しみで泣き崩れた
 私には十三歳と七歳の子供がいる 悲しんではかりおられない
 ある日私の写真撮らせてと話があった
 その写真は街角のポスターになっている
 肩や腕を晒し微笑んでいる
 悲しみや憎しみ乗り越え微笑んでいる
 子供達よ世界中の子供達 憎しみの連鎖断ち切って
 歴史が築いた平和の秩序に生きてください
 傷ついた腕の写真は 平和な世界が来ると微笑んでいる
 戦争のない世界が来ると呼びかけている 呼びかけている